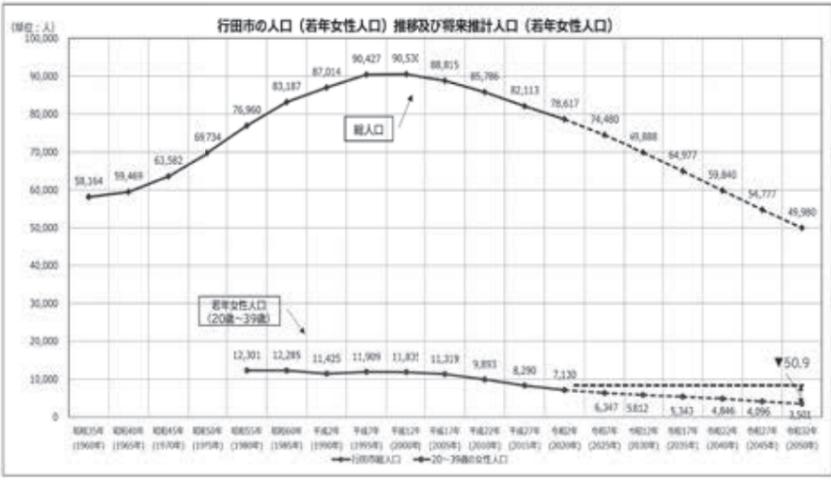


消滅可能性自治体からの脱却に向けて

そもそも消滅可能性自治体とは…

民間の有識者らでつくる「人口戦略会議」が「消滅可能性自治体」について発表しました。これは、国立社会保障・人口問題研究所が昨年12月に公表した地域別の将来人口推計において、子どもを産む中心の年齢層である20歳から39歳までの女性人口が、2050年にかけて半数以下に減少する744市町村を定義づけたものです。



消滅可能性自治体数は…

744市町村 / 1,729市町村 (約43パーセント)
※2014年から239自治体が脱却、99自治体が新たに該当

埼玉県内で分類された市町村は…

【16市町村】行田市、秩父市、越生町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、神川町、寄居町、松伏町

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5(2023)年推計)

- 平成17年以前のデータに旧南河原分を加算しています。
- 令和7年(2025年)～令和32年(2050年)については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5(2023)年推計)による推計値

改善の兆しも…

直近では、社会動態が転入超過となっています。こうした傾向を確実なものとするため、各種施策を積極的に推進していきます。

	令和5年度	令和6年度			
		4月	5月	6月	7月
社会増減(人)	+438	+140	+40	+39	+45



新しい行田の好循環により人口減少を抑制し活力を創出します

本市の人口動態について分析を行いました

今回の消滅可能性自治体への分類を受け、今後の施策を効果的に推進するため、過去からの人口動態や他市との比較など分析を行いました。

人口動態分析の内容

- 本市の過去からの人口推移や将来推計、合計特殊出生率などの基礎データ分析
- 本市と他自治体の人口動態との比較
- 他自治体の施策と人口推移の関係性
- 人口減少に歯止めをかけるためにやるべきこと

人口動態分析の結果

転入者数が増加している自治体共通の傾向

高速道路ICや鉄道駅の設置などにより、地域の交通利便性の向上が図られ、開発の促進や転入者の増加につながっている



詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市民の皆さんと危機感を共有し、皆さんと一緒に「新しい行田」へと歩みを進めていきます。市民の皆さんもご意見・ご提案などありましたら、ぜひお聞かせください。

▶問い合わせ 企画政策課企画政策担当(内線309)

行田市消防団が埼玉県消防操法大会で優勝しました!

7月27日に埼玉県消防学校(鴻巣市)で第34回埼玉県消防操法大会が開催され、行田市消防団がポンプ車の部に出場し、優勝という輝かしい成績を収めました。

出場した選手らは、行田市消防団の中から選抜され、3月から大会に向けて練習を重ねました。大会当日は多くの団員が応援する中、練習の成果を如何なく発揮し、一致団結した素晴らしい操法を披露しました。

この大会で優勝した行田市消防団は、10月12日(土)に宮城県で開催される第30回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場します。

▶問い合わせ 消防総務課 ☎550-2119



～旧北河原小学校跡地利活用事業～ 貸しスタジオとしての利活用がスタートしました

令和4年3月31日に閉校となった旧北河原小学校の跡地利活用について、地域の方の意見や民間事業者のニーズなどを踏まえ、旧北河原小学校跡地活用計画を策定しました。この計画に基づき、令和5年度に公募型プロポーザルを実施した結果、ミュージックビデオや映画、テレビドラマなどを撮影するための貸しスタジオ事業を実施する「有限会社アトリエミカミ」が選定され、令和6年3月21日に本市と契約を締結しました。このたび、貸しスタジオとして本格的に事業をスタートさせることに伴い、令和6年8月3日に「旧北河原小学校跡地利活用事業 行田学校スタジオ開所式」を行いました。

同社は、他県においても学校跡地を活用した事業を実施している実績があります。また、有事の際に避難所として開放することについても全面的に協力いただけることとなっています。

今後、この施設で多くの撮影が行われることにより、新たな観光スポットの発掘や聖地巡礼による観光客の増加の他、撮影関係者用のロケ弁当をはじめとした飲食需要が高まるなど、地域に賑わいをもたらすさまざまな効果が期待されます。

市ホームページでも施設の活用実績を紹介するなど、随時情報を更新していきますので、ぜひご覧ください。

▶問い合わせ 財産管理課(内線321・313)



開所式でのテープカットの様子



開所式後の講演の様子